

で無垢材を使用する際は、正しい施工方法で。こう指摘するのはマンションのスケルトンリリフォームで、数多くの実績を持つマスター・プラン一級建築士事務所(兵庫県西宮市)の小谷和也社長。このたび東京都内でプロ向けに施工ノウハウを披露するセミナーを開催した。約40人が参加。

セミナーのテーマは、「マンションリノベー



小谷和也 社長

での床騒音と遮音の正しい知識」。

同社では約60件のマンションスケルトンリノベーションを手掛けており、その知見をウェブサイトやフェイスブックで公開している。

小谷氏のもとにには、他

からの問い合わせが年々増えてきている。これを受け、事業者に正しい知識を伝えたいということ

でセミナーを開催した。

小谷氏が警告するのは、既存の台板フローリングの上に無垢の床材を重ね貼りするという工法。実際に、重ね貼りした場合の床の遮音性能を調査

同氏は「重ね貼り施工は、廃材が抑えられ、作業も効率化できるが、注意が必要。実験の結果、遮音性のある既存の台板フローリングの上に無垢床材を重ね貼りする」という工法。

下の階に住む人に生活音がより大きく伝わるようになり、騒音トラブル

なくなることで、下の階への騒音が大きくなるか

だ。

「マンションリノベー

ンコンクール」を実

施する。

同コンクールで

は、大阪府内のリフ

ーム・リノベー

ションの事例を募

集。選定された優秀

事例はホームページ

で公開する。

今回は大阪府と

同フォーラムの共

催事業とし、2つの

賞を新設した。

オーラムは、第3回大阪の住まい力

アップリフオ

ム・リノベーショ

ンコンクール

で開催される。

応募受付は12月24日

まで。当日消印有効。

連名での応募も可能。

詳細は同フォーラムの

ホームページへ。

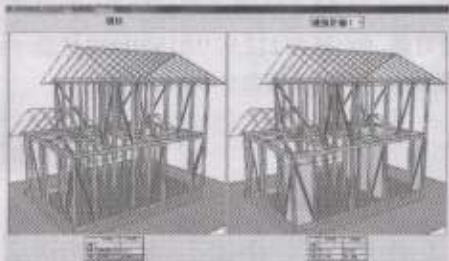
## 大阪の住まい活性化フォーラム・リノベコンクール

ム会員賞。住宅の性能向上が総合的に図られ、居住者の住生活満足度の向上に大いに成功しているもので1点以内。そのほか優秀賞が6点以内。耐震リフォーム、バリアフリー、リノベーション等で特に優れた事例への特別賞が各1点以内。応募受付は12月24日まで。当日消印有効。連名での応募も可能。詳細は同フォーラムのホームページへ。

## IT差がつく活用術

### 耐震提案を「視覚的」に

橋本社長はノートパソコンの画面を開きながら、耐震リノベーションの打ち合わせ手順を説明してくれました。「耐震診断をするには、まず現地調査をします。窓の数や大きさなどの計測をするとともに、屋根裏や床下などの状況もチェックし、こんなふうに各部分を詳細に写真撮影しておきます」

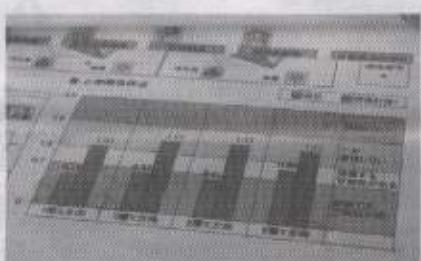


▲ホームズ君3D画面



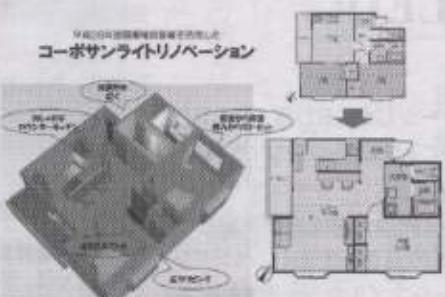
▲現地調査写真

次は、現地調査で計測した情報を元に耐震診断ソフトで構造計算。「私が使っているのは「ホームズ君耐震診断Pro」というソフト。数値に裏付けられた資料、説得力のあるグラフデータ、3Dグラフィックによる分かりやすい表示が特徴です。このように現状と耐震補強プランの構造を3DCGで比較して視覚的に見せることができるので、とても分かりやすく施工主に説明できるのがいいですね。調査で撮影した屋根裏や床下の写真を見てもらいたなから、説明すれば一目瞭然です」



▲総合診断書

現状の耐震能力と補強後の耐震能力は、「総合診断書」として明確にグラフ表示。3DCGで示した補強を行うと、どれくらい耐震能力が上がるかも数値で伝えられます。「実際の家の写真、その現在の構造とどの部分をどう補強するかが分かる3DCG、そして数値で裏付けられた性能をグラフィカルに表示した診断書。これらを使うことで、安心・納得してご契約をいただけます」



▲マイホームデザイナープレゼン資料

耐震診断だけでなく、リフォームのデザインも3DCGで視覚的に説明。リフォームのビフォーアフターは「3DマイホームデザイナーPRO」を使い、間取りプランと完成パースを見せることで、お客様の納得度もアップ。「ホームズ君耐震診断Pro」と「3DマイホームデザイナーPRO」はデータの連携ができるそのうでの、増改築と耐震リノベーションを同時に施工するような案件では、両方のソフトをうまく使うと便利かもしれません」